

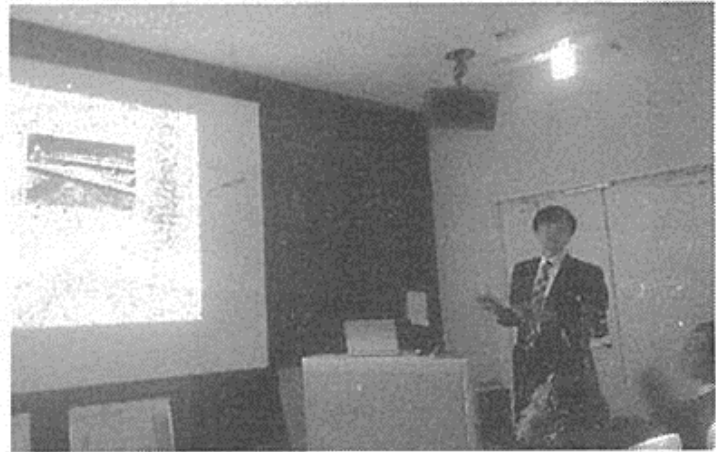
2016年(平成28年)12月28日(水)

地中利用のセミナー

兼松サステック

兼松サステック(東京都、高崎實社長)はこのほど、木材の地中利用に関するセミナーを開いた。

同セミナーでは、木材を用いた軟弱地盤対策工法と加圧注入処理技術を紹介。同社が展開している環境パイル工法や大地震に備える液状化対策工法のLP-LiC工法、また木材加圧注入防腐・防蟻



処理について詳しく解説した。

特に注目されたのは環境パイル工法だ。同工法では杉丸太を有効活用し、高品質な防腐

環境パイル工法を含め、同社の技術が幅広く紹介された

・防蟻処理により高耐久性を実現すると説明。地域材を有効活用できることから自治体などからも関心が高まっている。

参加者からは「木材は現在、構造材での利用などで関心が高まっているものの、今後はより幅広い木材利用が全国的に求められる。そうしたなかでこの技術が注目される」などの声が聞かれた。